

各施設・団体長 様

一般社団法人沖縄県介護福祉士会
会 長 平 良 仁 志
(公 印 省 略)

平成26年度

介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱ（介護福祉士初任者研修）について（ご案内）

拝啓 春暖の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より本会の事業推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、「介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱ（介護福祉士初任者研修）」を下記の通り開催いたしますので、ご多忙とは存じますが、貴施設・貴団体における介護福祉士の資格を有する職員の派遣について、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱは、公益社団法人日本介護福祉士会生涯研修制度に則り、初任者研修の一つとして位置づけられています （現任者研修ではありません）。 敬具

記

1. 期 日 日程については、「介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱプログラム」別紙1参照 3日間実施
2. 時 間 受付8:45～開始9:00～終了18:00
3. 会 場 沖縄県総合福祉センター東棟401研修室及び404研修室
(研修会場は変更される可能性があります)
〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1
4. 対 象 者 介護福祉士国家資格取得後1年未満の方から介護福祉士国家資格取得後3年未満の方
5. 定 員 20名 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。ご了承下さい。
6. 研 修 費 一般社団法人沖縄県介護福祉士会正会員一人3日間で、11,592円（テキスト代込み）
(中央法規出版株式会社)
テキスト購入済みの場合：9,000円
一般社団法人沖縄県介護福祉士会非会員一人3日間で、20,592円（テキスト代込み）
(中央法規出版株式会社)
テキスト購入済みの場合：18,000円

※すでにテキスト「介護福祉士初任者のための実践ガイドブック（中央法規出版株式会社）」を購入されている方は当日持参して下さい。お手元がない方は購入となります。

※消費税8%に伴いテキスト代が2,592円（本体価格2,400円）となります。

7. そ の 他 天候等諸事情（台風等）により本研修が開催されない場合がありますので予めご了承下さい。

その際は、予備日として、8月28日（木）・29日（金）・30日（土）を予定しています。

※研修受講にあたって事前課題の提出があります。詳細は別紙2＜介護福祉士初任者研修（基礎研修Ⅰ・Ⅱの事前課題）＞で内容を確認してください。

〔平成26年度 介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱ（介護福祉士初任者研修）プログラム（案）〕

※7月26日（土）は実技がありますので、ジャージ等実技のできる服装でお越し下さい。

7月24日（木）

時間	研修科目	講師
8:45～	受付	事務局
9:00～9:30	講義1 日本介護福祉士会生涯研修制度について 介護専門職団体の役割	本会理事 福井 彰雄
9:30～10:30	講義2 介護福祉士の専門性と職業倫理	同 上
10:30～12:00	講義3 介護福祉士の法律と関連する制度施策	同 上
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～15:30	実技1 福祉用具の概要と活用	株) シルバーサービス 沖縄 福祉用具専門相談員 近藤 有助
15:30～18:00	実技2 緊急時の対応	日赤安謝福祉複合施設 救急法指導員 新崎 聡也

7月25日（金）

時間	研修科目	講師
8:45～	受付	事務局
9:00～10:00	講義1 ①利用者の心を支えるためのコミュニケーション ②介護福祉士の基本的態度	本会正会員 (有) 寿ランド 企画課長 羽鳥 訓秀
10:00～12:00	講義2 介護福祉士のための記録と報告	同 上
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～18:00	講義3 介護過程の展開	同 上

7月26日（土）

時間	研修科目	講師
8:45～	受付	事務局
9:00～12:00	講義1 介護福祉士のための医学知識	理学療法士 宮里朝康
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～18:00	介護福祉士のための介護技術 実技1 排泄 実技3 食事 実技2 移動等	本会正会員 (有) 寿ランド 企画課長 羽鳥 訓秀
18:00～	閉講式 アンケート記入・回収 公益社団法人日本介護福祉士会入会案内	本会事務局より

* プログラムの内容・講師等に関して変更の可能性がありますので予めご了承下さい。

* プログラムの進行状況により適宜休憩をとります。

平成26年度介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱ（介護福祉士初任者研修）参加案内書

— 平成26年7月24日（木）・25日（金）・26日（土） —

1. 研修費 沖縄県介護福祉士会正会員 一人3日間で、11,592円（テキスト代込み）
テキスト購入済みの場合：9,000円

沖縄県介護福祉士会非会員 一人3日間で、20,592円（テキスト代込み）
テキスト購入済みの場合：18,000円

2. お申し込み方法

別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送・メールにてお申し込み下さい。

研修費については、参加申込後下記口座まで6日以内にお振り込み下さい。

振込領収書（受領証・振込入金票）等は紛失なされないよう大切に保管して下さい。

振込手数料は申込者の負担となりますのでご了承下さい。

※通帳記帳の際に施設・団体名が印字されないことがありますので、施設・団体名で振込まれる場合は法人名を省いて施設・団体名のみ記入して下さい。

振込先口座番号・口座番号：ゆうちょ銀行

（加入者名）（社）沖縄県介護福祉士会 会長 平良 仁志

（口座記号）17030

（口座番号）11842931

（振込手数料は各自でご負担下さい）

振込先金融機関：沖縄銀行 普通預金 石嶺支店

（口座名義）（社）沖縄県介護福祉士会 会長 平良 仁志

（口座番号）1448894

（振込手数料は各自でご負担下さい）

※ 振込後の参加取り消しや欠席の場合、研修費の返金はありません。

3. 研修参加の確認方法

参加証等の発送は行いませんので、各施設・団体・会社・個人にて確認の連絡を本会事務局までご連絡下さい。

4. お問い合わせ・申込書送付先

〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1（沖縄県総合福祉センター内西棟4階）

一般社団法人 沖縄県介護福祉士会 事務局

TEL：098-887-3344 FAX：098-887-3391

E-mail：okinawakaigo@woody.ocn.ne.jp

※ 対応可能時間 13:00～17:00（月～金）※土・日・祝休み

5. 申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。（定員20名）

6. 昼食のご案内 ※ 近くにレストラン等がありませんので、お弁当等の準備をおすすめいたします。

平成26年度介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱ（介護福祉士初任者研修）申込書

申込先 FAX 098-887-3391 — 申込書送付先 —

〒903-0804
 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1

発信者職名 _____

(沖縄県総合福祉センター内西棟4階)
 一般社団法人 沖縄県介護福祉士会

発信者氏名 _____

TEL: 098-887-3344 (事務局)

(必要事項を記入または○で囲んで下さい)

ふりがな	領収書発行	テキスト購入の希望
申込者名		職場名 個人名	希望する 希望しない
介護福祉士 登録番号	A・B・C・D () (養成学校卒業者はA・B・Cのいずれかを、国家試験取得者はDを○で囲んで下さい)		
日本介護 福祉士会 会員番号	会員証の会員番号あるいはニュース発送時の住所ラベルの中の会員番号 ① (470) 6桁の数字です		
事業所名			
事業所 住所	〒		
事業所 連絡先番号	TEL	FAX	
自宅住所	〒		
連絡先番号 自宅	TEL	FAX	
携帯	TEL		

※ 介護福祉士登録番号・日本介護福祉士会会員番号を忘れずに記入して下さい。

(養成学校卒業者はA・B・Cのいずれかを、国家試験による資格取得者はDを○で囲んで下さい)

<研修会場案内図省略>

インターネットにて「 沖縄県総合福祉センター 」で検索してお探し下さい。

※注意点 ○社会福祉士及び介護福祉士法に定める定義規定及び義務規定を遵守しない言動が見られる場合

は研修会の途中で退席を命じることがあります。

○駐車スペースが限られていますので、乗り合わせの上お越し下さい。

○領収書発行は7月24日(木)の受付時に行います。

○7月26日(土)は実技がありますので、ジャージ等実技のできる服装でお越し下さい。

○研修会場は個人の希望による空調温度調節が不可能ですので、必要な方は上着の用意をお願いいたします。

※ 研修に関する個人情報、本会の生涯研修制度等の目的以外には使用しません。

<介護福祉士基礎研修Ⅰ・Ⅱ（介護福祉士初任者研修）の事前課題について>

別紙3・別紙4「懲戒処分の公表について」を読み、おのおの3事例の懲戒処分に至るまでの内容を把握して下さい。その上で以下の事前課題に取り組んで下さい。

【事前課題】

懲戒処分後3事例の方は再就職のため「介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級養成研修）」を受講しました。研修修了後再就職にあたって3事例の方があなた自身の職場の就職面接にきました。法人の人事担当者から「3名のうち1名を介護職員として採用したいと考えている。現場で働く介護職員の意見を聞かせてもらいたい。」とあなたに意見を求めてきました。その際別紙文書「懲戒処分の公表について」を手渡されました。なお個人情報の提供にあたっては、利用目的を3事例本人に説明し事前に書面で同意を得ています（個人情報保護法第15条【利用目的】及び第16条1項【事前の同意】）。あなた自身この3名の中からどの方を採用したいと考えますか？あなた自身の価値観も踏まえてその根拠をまとめてください（800字以上1200字以内、本会指定の様式で本会事務局まで郵送かファックスで提出、**提出期限7月18日**）。

*800字以上1200字以内、本会指定の様式で提出）。

*2日目の講義1「介護福祉士の基本的態度」で事前課題を踏まえてグループ演習を行います。

*なお事後課題の内容は2日目の講義終了後に事務局より説明します。

平成26年4月吉日

一般社団法人沖縄県介護福祉士会事務局

懲戒処分の公表について

平成××年×月×日

〇〇大学

懲戒解雇

〇〇大学は、技術職員（女性・20歳代）に対し、×月×日付で、懲戒解雇の懲戒処分を行った。

同職員は、平成〇〇年3月、学内において、他人の財布からクレジットカードを窃取したうえ、都内のコンビニエンスストアで、当該クレジットカードを使用して商品の交付を受けたとして、平成××年3月に詐欺罪及び窃盗罪により起訴されたものである。

同職員の行為は、就業規則第38条第5号に定める「大学法人の名誉又は信用を著しく傷つけた場合」に該当することから、同規則第39条第6号に定める懲戒解雇の懲戒処分としたものである。

諭旨解雇

〇〇大学は、大学院教授（男性、50歳代）に対し、概要以下のような事実を認定し、×月×日付で、諭旨解雇の懲戒処分を行った。

(1) 教授は、平成××年夏頃、甲（仮名）から、教授就任の祝儀の名目で現金100万円を受領した。また、その後、甲が本学大学院の入学試験の受験を希望していることなどを知ったにもかかわらず、当該金員を返還しなかった。

(2) 教授は、平成××年の大学院入試の受験を希望していた甲に対し、当該入試への出願を見送って平成××年の大学院入試を受験するように働きかけた。教授は甲に対し、平成××年の大学院入試について、何らかの優遇を受けられるかのように思わせる態度をとっていたが、平成××年の大学院入試の出願時期になると、それまでの態度を翻し、大学院学生として受け入れることは難しいことを告げるなどして甲を翻弄した。

(3) 教授は、甲が平成××年の大学院入試を受験した際、口述試験の試験委員として質問を行い、採点に関与するなど、大学院入試の公正性、厳格性に疑念を生じさせる行為を行った。

教授の行為は、就業規則第38条第5号に定める「大学法人の名誉又は信用を著しく傷つけた場合」及び同条第8号に定める「この規則及び大学法人の諸規則によって遵守すべき事項に違反した場合」に該当し、同規則第39条第5号に定める諭旨解雇の懲戒処分を行ったものである。

諭旨解雇

〇〇大学は、技術職員（男性・40歳代）に対し、×月×日付けで、諭旨解雇の懲戒処分を行った。

同職員は、転居したにもかかわらず、その届出を行わずに通勤手当88,770円を不正に受給したものである。同職員は、転居に伴う届出を故意に怠ったというだけにとどまらず、給与事務担当者に対して虚偽の説明を繰り返し、また、契約関係書類を偽造するなどして事実を隠ぺいしようとしたものであり、本学職員としての資質に欠けると判断されたものである。

同職員の行為は、就業規則第38条第5号に定める「大学法人の名誉又は信用を著しく傷つけた場合」及び第8号に定める「この規則及び大学法人の諸規則によって遵守すべき事項に違反した場合」に該当することから、同規則第39条第5号に定める諭旨解雇の懲戒処分としたものである。

いずれも、本学教職員としてあるまじき行為であり、それぞれの行為は決して許されるものではなく、厳正な処分をいたしました。

大学として、このことを厳粛に受け止め、今後このような行為がおこらないよう、再発防止にあたっていく所存です。

〇〇大学 学長 〇〇 〇〇

